

## はじめに



本市は、雄大な桜島と波静かな錦江湾に代表される多彩な自然、世界に誇りうる魅力ある歴史・文化など豊かな地域資源に恵まれ、商業・交通などの多様な都市機能が集積する南九州の中枢中核都市として着実な発展を遂げてきました。

一方で、今日、新型コロナウイルス感染症拡大による社会の変化や人口減少・少子高齢化の進行、ICTの飛躍的な発展、災害リスクの高まりなど、私たちの暮らしを取り巻く環境は大きく変化しており、私たちはこうした変化に的確に対応しながら、将来にわたり持続可能な都市をつくりあげ、次の世代へ引き継いでいくことが求められています。

このような中、本市では、都市像に“つながる人・まち 彩りあふれる 躍動都市・かごしま”を掲げた「第六次鹿児島市総合計画」とともに、その実現に向け、長期的・総合的な視点から、20年後を見据えた都市計画に関する基本的な方針を定めた「第二次かごしま都市マスタープラン」を本年4月にスタートいたしました。

また、住宅や商業・医療施設などが集約された“歩いて暮らせるまちづくり”を掲げた「鹿児島市集約型都市構造に向けた土地利用ガイドプラン」や「かごしまコンパクトなまちづくりプラン（立地適正化計画）」のほか、住宅団地の活性化に向け、“地域（一人ひとり）が主役になって多様な世代が活躍できる団地（まち）”を目標とする「かごしま団地みらい創造プラン」など、各種計画に基づき、魅力ある都市空間の形成に取り組んでいるところでございます。

本市におきましては、今後のまちづくりにおいて、これまで以上に、地域が持つ魅力や資源を生かすとともに、市民や事業者など多くの皆様との協働により、きめ細かな取組を進めてまいりたいと考えておりますので、一層のご理解とご協力をお願いいたします。

本書は、本市の都市計画のあらましを紹介するためにまとめたものです。今後のまちづくりについて理解を深めていただき、各面でお役立ていただければ幸いに存じます。

令和4年9月

鹿児島市長 下 鶴 隆 央